

東海テレビ・フジテレビ系全国ネット

東海テレビ×FOD 共同制作

 土ドラ

バントマン



写真① 野球解説者 山本昌さん

2024年11月16日(土) 24:05

山本昌さん 満を持して登板！

レジェンド語る、バント、そしてセカンドキャリア

鈴木伸之演じる中日ドラゴンズのホームランバッターで、戦力外通告を受けたプロ野球選手の第二の人生を描く、東海テレビ・フジテレビ系土ドラ『バントマン』(毎週土曜日23時40分)。今夜放送の第6話では、史上最年長での勝利投手、完封勝利、ノーヒットノーランなど数々の記録を持つ中日ドラゴンズのレジェンドで、野球解説者の山本昌さんが本人役で出演する。

ドラマ出演の感想から、投手から見たバントの印象、そしてプロ野球選手のセカンドキャリアまで、普段は聞けないとおきの話をお話してくれた。

バントの出来がピッチングにも影響？投手目線で考えるバント

—— バントについてはどんな印象がありますか？



山本 やはりバントといえば、川相昌弘さんじゃないですか。世界記録も持っている方なんでね。川相さんがジャイアンツにいた頃は「何とかバントを失敗させてやろう」と思いましたけど、簡単に決められちゃうんですよ(笑)。その後は同じチームでプレーしましたし、僕らの世代でバントといえば、誰もが川相さんを最初に思い浮かべるんじゃないでしょうか。

写真② 山本昌さん

—— 山本昌さんご自身の、バントに関する思い出を教えてください。

山本 メジャーリーグの試合を見ていると、特に序盤ではバントをしないですよ。一方で日本は初回からバントということもあると思います。特にセントラル・リーグではピッチャーも打席に立つわけですが、そこでバントの指示が出ることも少なくありません。ただね、ピッチャーがバントを失敗すると、その後の回で打たれてしまうという印象があります。僕はバントが上手く決まった時の勝率は、結構よかったんじゃないかな。ちなみにプロ野球投手の中での、歴代最多儀打の記録(153)も持っているんですよ。そう考えると、バントを成功させたことで、2、30勝くらいは勝たせてもらっているかもしれません。だから上手くて良かったなと思っています。

—— 主人公・柳澤大翔にちなんで、ホームランバッターに対する印象は？

山本 ホームランバッターに関しては、王さんを筆頭に素晴らしい先輩方がいますけれど、僕はやっぱり同世代の打者の印象が強いですね。特に山崎武司は通算403本も打って、セ・パ両リーグでホームラン王に輝いていますからね。

思い返すと、僕らの現役時代のほうが外国人選手のホームランバッターが多かった気がするんです。アレックス・カブレラ選手とかタフィ・ローズ選手とか…、ウラディミール・バレンティン選手も凄かったですね。今はそうした外国人選手のホームランバッターがちょっと見当たらないし、そもそもホームランが少ない野球になってきているのかなって思っています。



写真③

『ドラHOT+』で大翔の特集！選手のセカンドキャリアがテーマ



今夜の放送では、中日ドラゴンズの応援番組としてお馴染みの東海テレビ『ドラHOT+』(毎週土曜・午後5時放送)が登場、野球界への復帰を目指し、自主トレーニングを続ける柳澤大翔(鈴木伸之)が、番組の取材を受ける。大翔にインタビューするのは、同番組の司会を務める東海テレビ篠田愛純アナウンサー。ドラマでは、同じく番組の司会で大のドラゴンズファンで知られる峰竜太さんと昌さんが、プロの世界の厳しさについて語っているリアルな『ドラHOT+』を見ているようだ。

写真④中央・篠田愛純東海テレビアナウンサー 柳澤大翔(鈴木伸之)

プロ野球選手なら必ず経験する 引退後のセカンドキャリア

—— これまでにドラマ出演の経験はありますか？

山本 以前にも野球関連のドラマに出させていただいたことがあります。引退後にいろいろなお仕事をやらせていただいています。ドラマ出演は緊張するものの楽しいです。特に今回の撮影はいつも出演している『ドラHOT+』のスタジオでしたし、レギュラー陣と一緒にいたので、落ち着いて収録に臨めました。むしろ、ちょっと笑いすぎたかもしれません。



写真⑤ 篠田愛純(東海テレビアナウンサー) 峰 竜太さん 山本昌さん

—— 主人公・柳澤大翔を演じる鈴木伸之さんの野球シーンはいかがですか



山本 打ち方とか打席での構え方などすごく様になっていますよね。落合監督時代のユニホームも似合っていますね。カッコ良くてホームランも打つ、もし柳澤大翔のような選手がいたら人気が出るでしょうね(笑)。

写真⑥ 柳澤大翔 (鈴木伸之)

—— ホームランバッターだった大翔が、「バントの精神で第二の人生を歩む姿」を描きます

山本 ユニホームを脱いで新たな人生を歩むというのは、プロ野球選手なら誰も経験することなんです。少し特殊な世界で頑張ってきた人間が一般企業に就職したりするわけですから、やはり戸惑うこともあるでしょう。そういう意味でこのドラマは、とても現実に近い話なんだろうなと思っています。



写真⑦ 柳澤大翔 (鈴木伸之) 根鈴 華 (倉科カナ)

—— 中日ドラゴンズと東海テレビが初タッグを組んだドラマでもあります。どんなことを期待しますか？



写真⑧ 柳澤大翔 (鈴木伸之)

山本 昼ドラで知られた東海テレビなので、素晴らしい出来になると思っています。主人公は「戦力外通告を受けたプロ野球選手」ですが、私も実際にそんな後輩から相談を受けたことが何度もあります。みんな、セカンドステージで頑張っていました。『バントマン』でも、主人公の柳澤大翔の頑張る姿が見られることを期待しています。

『ドラ HOT+』は、東海テレビで毎週土曜日午後5時放送です。きょうの解説者は山本昌さん。ゲストはドラフト 5 位指名の高橋幸佑投手(北照高)！
沖縄秋季キャンプの様様もたっぷりとお伝えします。お楽しみに！

【第6話あらすじ】

大翔(鈴木伸之)の中日ドラゴンズ時代の後輩・真鍋(和田雅成)が、ユニホームを脱ぎ引退すると連絡してきた。突然の話に驚いた大翔は「あきらめるな」と必死に説得するが真鍋の決意は固く、2人は衝突してしまう。

その頃バントマンたちは、かつて将来を嘱望されていたが今は閑職に追いやられている北村(宮下貴浩)をターゲットに活動を開始。そんな北村の境遇に、大翔はついドラフト1位で入団しながら戦力外となった自身を投影してしまう。



写真⑨ 柳澤大翔(鈴木伸之) 真鍋義信(和田雅成)



写真⑩ 柳澤大翔(鈴木伸之)

概要

【放送日時】 2024年10月12日(土)~12月21日(土)

毎週土曜 23時40分~24時35分 / 全11回(予定)

【出演】 鈴木伸之 倉科カナ 平原テツ 阿久津仁愛 石川瑠華 和田雅成 熊谷真実
/ 朝加真由美 モロ師岡 / 坂東彌十郎

【脚本】 矢島弘一 富安美尋

【音楽】 斎木達彦

【主題歌】 鈴木伸之『生涯HERO』(Sony Music Labels)

【オープニング曲】 WOLF HOWL HARMONY『ROLLIN' STONES』(rhythm zone)

【演出】 千葉行利 丸谷俊平

【企画】 市野直親(東海テレビ)

【プロデューサー】 遠山圭介(東海テレビ) 馬場三輝 (ケイファクトリー)

【制作協力】 ケイファクトリー

【制作】 東海テレビ FOD

〈広報担当〉

■ 東海テレビ 東京編成部 山本聡美 TEL:03-3503-1391
コーポレートブランディング部 金岡未紗 TEL:052-954-1131